

地域おこし協力隊活動報告書 令和6年7月分



古家のぞみ

年齢：21歳

出身：千葉県市川市

趣味：編み物

着任日：令和5年4月（2年目）

活動内容：「解説指導員の会」と田平地区の活性化



- ① たびら昆虫自然園解説指導員の会での活動
- ② 地域資源を活用したイベントなどの企画・実施
- ③ 田平町の情報発信（SNS）

園の解説案内等

気温が高い日が続いていますが、生き物は活発に活動しています。夏休みが20日（土）から始まり、来園者数も増加しています。7月1日～31日の一般案内は51回、275名、団体を3件、57名対応しました。

また、日中の園内のクヌギにクワガタとカブトムシとカナブンの仲間が確認されました。子ども達には、クワガタの観察が特に人気でした。



25日（木）、中部公民館が開講した「のびのびサマーJr. スクール」に講師として参加しました。18名が来園し、子ども達はクワガタを見つけて歓声をあげ、持参した図鑑と見比べて大きさに驚いていました。案内後に実施した折り紙工作では、折り紙とハサミを使用してカブトムシを作成しました。

夜の観察会では、周囲の安全確認、記録、カブトムシについての解説を実施しました。

イベントの報告



23日（火）に根師子・飯良まちづくり協議会で実施された「こどもと遊ぼう」夏休み企画の「染め物体験」では、平戸市地域おこし協力隊齊藤隊員の藍染体験の後に、カイコのフン染め体験講座を実施しました。子ども達は、フンで染物をすることに驚きながらカイコの一生について興味を持ち、染め物を行いました。

まち協等での活動



4日（木）、子供育成部会に出席し、各事業の進捗状況及び予定について話し合いを行いました。主に「こども笑展」について意見交換しました。

園内で新しく見られた生き物



・アブラゼミ

羽化（うか）した直後のアブラゼミです。3～4年土の中で生きる幼虫は、夜に殻を脱いで成虫になります。写真のアブラゼミは透明な翅（はね）ですが、2～3時間程度で茶色に変化します。

今後のイベント

8月18日（日）の田平中央公民館主催の公民館講座では、講師として「親子で参加！セミの抜け殻大調査」を開催します。興味のある方はQRコードからお申し込みください。（右）



たびら昆虫自然園では、7月に引き続き8月3日、10日の毎土曜日に平戸市振興公社主催の「夜の観察会」を開催します。わずかに予約の空きありますので、参加希望の方はたびら昆虫自然園にお電話ください。詳細はたびら昆虫自然園ホームページをご覧ください。（右）



SNSでの情報発信

イベント情報や園内の動植物について投稿をしています。（右）



@NFURUYA_08